

# HP Service Test

Windows オペレーティング・システム用

ソフトウェア・バージョン： 9.00

---

## HP Service Test インストール・ガイド

文書番号： T6553-90003

文書発行日： 2007 年 6 月（英語版）

ソフトウェア・リリース日： 2007 年 6 月（英語版）



## 利用条件

### 保証

HP の製品およびサービスの保証は、かかる製品およびサービスに付属する明示的な保証の声明において定められている保証に限ります。本文書の内容は、追加の保証を構成するものではありません。HP は、本文書に技術的な間違いまたは編集上の間違い、あるいは欠落があった場合でも責任を負わないものとします。

本文書に含まれる情報は、事前の予告なく変更されることがあります。

### 制限事項

本コンピュータ・ソフトウェアは、機密性があります。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効なライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアのドキュメント、および商用アイテムの技術データは、HP の標準商用ライセンス条件に基づいて米国政府にライセンスされています。

### サードパーティ Web サイト

HP は、補足情報の検索に役立つ外部サードパーティ Web サイトへのリンクを提供します。サイトの内容と利用の可否は予告なしに変更される場合があります。HP は、サイトの内容または利用の可否について、いかなる表明も保証も行いません。

### 著作権

© 2000 - 2007 Mercury Interactive Corporation, All rights reserved

### 商標

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows® および Windows XP® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、カリフォルニア州レッドウッド市の Oracle Corporation の米国登録商標です。

Unix® は、The Open Group の登録商標です。

## 文書の更新

本書のタイトル・ページには、次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアのバージョンを示すソフトウェア・バージョン番号
  - 文書が更新されるたびに更新される文書発行日
  - 本バージョンのソフトウェアをリリースした日付を示す、ソフトウェア・リリース日付
- 最新のアップデートまたは文書の最新版を使用していることを確認するには、  
**[http://ovweb.external.hp.com/lpe/doc\\_serv/](http://ovweb.external.hp.com/lpe/doc_serv/)** を参照します。

# サポート

## Mercury 製品のサポート

従来 Mercury が提供していた製品のサポート情報は、次の方法で入手できます。

- HP Software Services Integrator (SVI) パートナー ([www.hp.com/managementsoftware/svi\\_partner\\_list](http://www.hp.com/managementsoftware/svi_partner_list)) を通している場合は、SVI 代理店にお問い合わせください。
- 有効な HP Software サポート契約をお持ちの場合は、HP Software Support サイトを参照して、セルフソルブ技術情報検索を使用して技術的な質問に対する回答を検索できます。
- 従来 Mercury が提供していた製品のサポート・プロセスおよびツールの最新情報については、HP-Mercury Support Web サイト (<http://support.mercury.com>) (英語サイト) を参照してください。
- その他の質問については、HP の営業担当にお問い合わせください。

## HP ソフトウェアのサポート

HP Software Support Web サイトへは、[www.hp.com/managementsoftware/services](http://www.hp.com/managementsoftware/services) からアクセスできます。

HP Software のオンライン・サポートでは、対話型の技術支援ツールに効率的にアクセスできます。サポートをご利用のお客様は、サポート・サイトを使うことで次のような利点があります。

- 参照したいナレッジ文書の検索
- エンハンスメント要求およびサポート・ケースの登録とトラッキング
- ソフトウェア・パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポートの連絡先の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の参照
- ソフトウェアの他のお客様とのディスカッションに参加
- ソフトウェアのトレーニングの調査および登録

ほとんどのサポート・エリアは、HP Passport ユーザとしての登録およびサインインが必要です。また多くは、サポート契約も必要です。アクセス・レベルの詳細情報については、[www.hp.com/managementsoftware/access\\_level](http://www.hp.com/managementsoftware/access_level) を参照してください。

HP Passport ID の登録を申請するには、  
**[www.managementsoftware.hp.com/passport-registration.html](http://www.managementsoftware.hp.com/passport-registration.html)**（英語サイト）にアクセスしてくだ  
さい。



---

# 目次

<b>本書へようこそ</b> .....	9
本書の構成 .....	9
対象読者 .....	10
HP Service Test のオンライン・マニュアル .....	10
その他のオンライン・リソース .....	10
表記規則 .....	12
<b>第 1 章：インストールの前に</b> .....	13
HP Service Test のインストールについて .....	14
要件 .....	14
ライセンス .....	14
<b>第 2 章：HP Service Test のインストール</b> .....	15
<b>第 3 章：Service Test ライセンスの使用</b> .....	23
ライセンスの種類について .....	23
シート・ライセンス・コードの申請 .....	25
シート・ライセンス・コードの有効化 .....	27
コンカレント・ライセンスの使用 .....	29



---

# 本書へようこそ

『HP Service Test インストール・ガイド』へようこそ。HP Service Test は、SOA テストおよび Web サービス・テストに焦点を当てた、テスト・スクリプト作成ツールです。本書では、HP Service Test のインストールとセットアップの方法を説明します。

本章の内容	ページ
本書の構成	9
対象読者	10
HP Service Test のオンライン・マニュアル	10
その他のオンライン・リソース	10
表記規則	12

## 本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

### 第 1 章      **インストールの前に**

インストール・プロセスに備えるための情報を提供します。

### 第 2 章      **HP Service Test のインストール**

HP Service Test を Windows マシンにインストールする方法について説明します。

## 第 3 章 Service Test ライセンスの使用

Service Test のライセンス・コードの申請と有効化のプロセスについて説明します。

### 対象読者

本書は、HP Service Test のインストールとセットアップを行う必要のあるユーザを対象とします。

本書の読者は、システム管理について若干の知識があることが求められます。

## HP Service Test のオンライン・マニュアル

Service Test には、次のオンライン・マニュアルが付属しています。

**『最初にお読みください』**: Service Test, および仮想ユーザ・ジェネレータに関する最新のお知らせと情報を提供します。『最初にお読みください』には、**[スタート]** メニューからアクセスします。

**オンライン文書 / 印刷マニュアル**: PDF 形式の文書が含まれています。**[Help]** ボタンをクリックし、**[Books Online]** を選択します。

**オンライン・ヘルプ**: 任意の Service Test ウィンドウでウィンドウ内をクリックし、**F1** キーまたは **[Help]** ボタンを押すと表示できます。

**関数リファレンス**: 仮想ユーザ・スクリプトの作成時に使用する LoadRunner の関数をすべて、その使用例と共に参照できます。『**HP Online Function Reference**』(英語版) のアップデートについては、HP の **カスタマー・サポート Web サイト** をご覧ください。

## その他のオンライン・リソース

**Web Tours** サンプル Web サイトは、本書で説明する多くの例で使用されています。この Web サイトの URL は、<http://newtours.mercuryinteractive.com> です。

**ナレッジ・ベース**: このサイトでは、カスタマー・サポート・ナレッジ・ベースの閲覧や記事の投稿が行えます。この Web サイトの URL は、<http://support.mercury.com/cgi-bin/portal/CSO/kbBrowse.jsp> です。

**[Customer Support Web Site]**: このサイトでは、ナレッジ・ベースへのアクセス、ユーザ・ディスカッション・フォーラムへの参加と記事の検索、サポート要求の送信、パッチやアップデートされたマニュアルのダウンロードなどが行えます。Web サイトの URL は <http://www.mercury.com/jp/services/support/> です。この Web サイトには、**[Help]** メニューからもアクセスできます。

**[HP Software Web site]**: このサイトでは、HP Software 製品に関する最新情報をご覧になれます。たとえば、新しいソフトウェアのリリース、セミナー、展示会、カスタマー・サポートなどの情報が含まれます。Web サイトの URL は <http://www.jpn.hp.com/products/software/hpsoftware/index.html> です。この Web サイトには、**[Help]** メニューからもアクセスできます。

## 表記規則

本書は、次の表記規則に従います。

<b>[UI 要素]</b> および <b>関数名</b>	アクションを実行する際のインタフェース要素の名前、ファイル名またはパス、および強調が必要なその他の項目は、このスタイルで示します。(例： <b>[保存]</b> ボタンをクリックします)。また、メソッド名や関数名もこのスタイルで示します。(例： <b>wait_window</b> ステートメントには次のパラメータがあります)。
引数	メソッド、プロパティ、関数の引数、書名は、このスタイルで示します (例：『 <b>HP ユーザーズ・ガイド</b> 』を参照してください)。
<置き換える値>	ファイル・パスまたは URL アドレスの中で実際の値に置き換える必要のある部分は山括弧で囲んで示します (例： <b>&lt; MyProduct のインストール・フォルダ &gt;</b> <b>%bin</b> )。
例	使用例やユーザがそのまま入力しなければならない文字列は、このスタイルで示します (例：エディット・ボックスに <b>Hello</b> と入力します)。
CTRL+C	キーボードのキーはこのスタイルで示します (例：ENTER キーを押します)。
[ ]	省略可能な引数は、半角の大括弧で囲んで示します。
{ }	引数に割り当てる値の候補は、中括弧で囲んで示します。値をいずれか 1 つ割り当てる必要があります。
...	構文内の省略記号は、同じ形式の項目がさらに含まれている可能性のあることを示します。プログラミング例に含まれる場合は、何行かが意図的に省略されていることを示します。
	垂直バー (パイプ記号) は、バーで区切られているオプションのいずれかを指定しなければならないことを示します。

# 第1章

---

## インストールの前に

本章では、インストール・プロセスに備えるための情報を提供します。HP Service Test をインストールする前に、要件を確認してください。

本章の内容	ページ
HP Service Test のインストールについて	14
要件	14
ライセンス	14

## HP Service Test のインストールについて

HP Service Test には、SOA アプリケーションをテストするためのいくつかのツールが用意されています。主なコンポーネントは次のとおりです。

- ▶ **Server Emulator** : エミュレートされたサービスを作成するためのツールです。
- ▶ **VuGen** : VuGen, すなわち HP 仮想ユーザ・ジェネレータは、WSDL ファイル、記録、ネットワーク・トラフィック分析に基づいて Web サービス・テストを作成するためのユーティリティです。

## 要件

セットアップが始まる前に、インストール・プログラムにより、.NET Framework 2.0, Visual C++ 2005 再頒布可能パッケージ, Microsoft Installer 3.1 などの必須のコンポーネントがお使いのシステムにあるかどうか確認されます。必須のコンポーネントがなかった場合は、それらがインストールされるようにインストール・プログラムがユーザを案内します。

インストール先のマシンに、既存の LoadRunner のインストールがあってはなりません。マシンに LoadRunner がインストールされている場合は、カスタマー・サポートに連絡して、SOA テスト機能が含まれている LoadRunner 8.1 の Feature Pack 4 を入手してください。

## ライセンス

初めてインストールされた Service Test には、21 日間のデモ・ライセンスが含まれます。21 日を超えて Service Test を使用する場合は、Service Test 用のライセンス・コードを申請し、有効にする必要があります。詳細については、23 ページ「Service Test ライセンスの使用」を参照してください。

# 第 2 章

---

## HP Service Test のインストール

本章では、HP Service Test を Windows マシンにインストールする方法について説明します。セットアップ・プログラムによって提供されるウィザードが、インストール全体を通してユーザを案内します。

**HP Service Test をインストールするには、次の手順を実行します。**

- 1 インストール・ディスクのルート・ディレクトリで **setup.exe** を実行します。

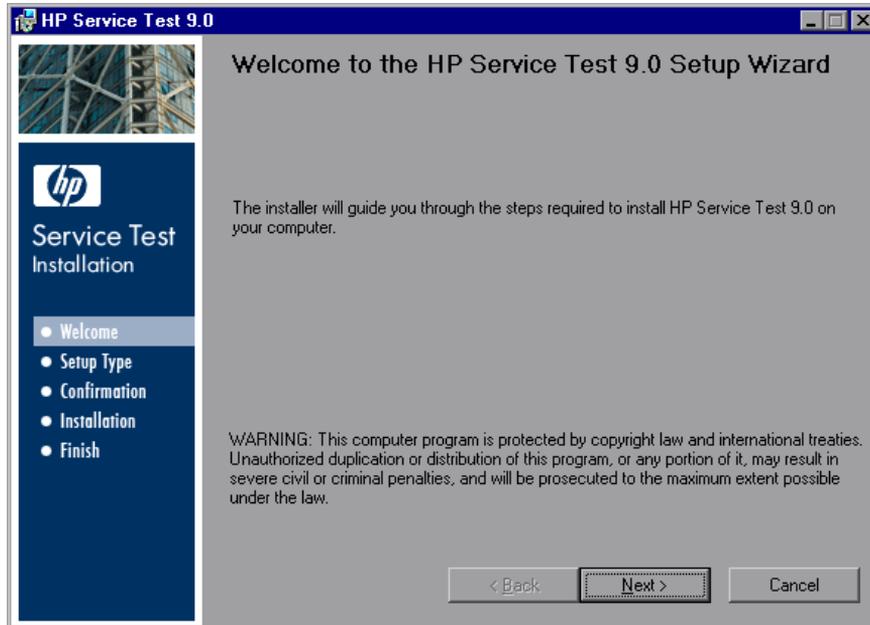
---

**注：** Service Test のインストール・ディレクトリがネットワーク・ドライブにある場合は、インストールを実行する前に、そのネットワーク・ドライブを割り当てておく必要があります。インストールの実行に UNC (Universal Naming Convention) パスを使うことはできません。

Microsoft の既知の問題により、割り当てられたネットワーク・ドライブから Service Test をインストールし、リモート・デスクトップ接続を使っている場合に、エラーが生じてインストールできなくなる場合があります。リモート・デスクトップ接続を使って Service Test をインストールする場合は、インストール・ディレクトリをローカル・ドライブにコピーして、ローカルでインストールを実行してください。

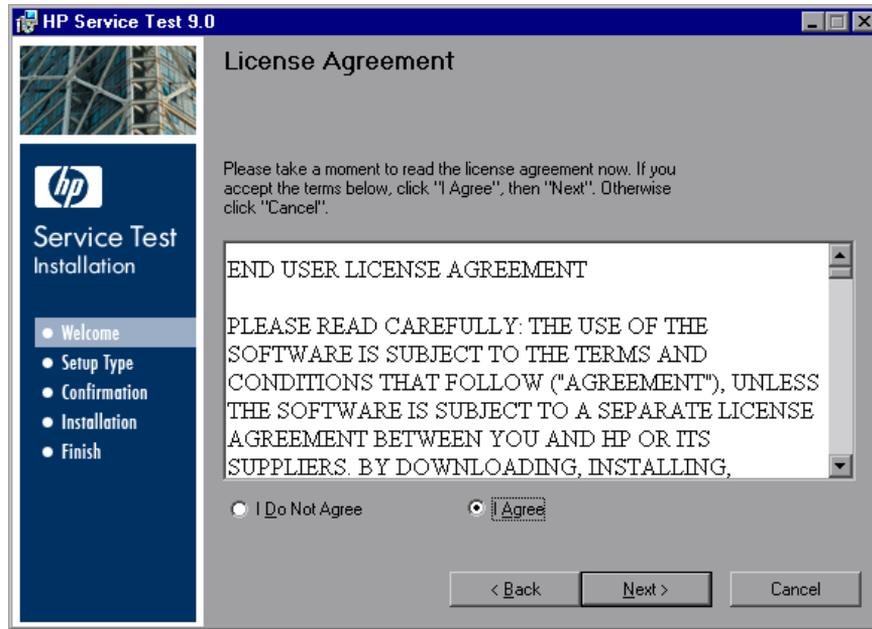
---

[Service Test Setup] ウィザードが開きます。

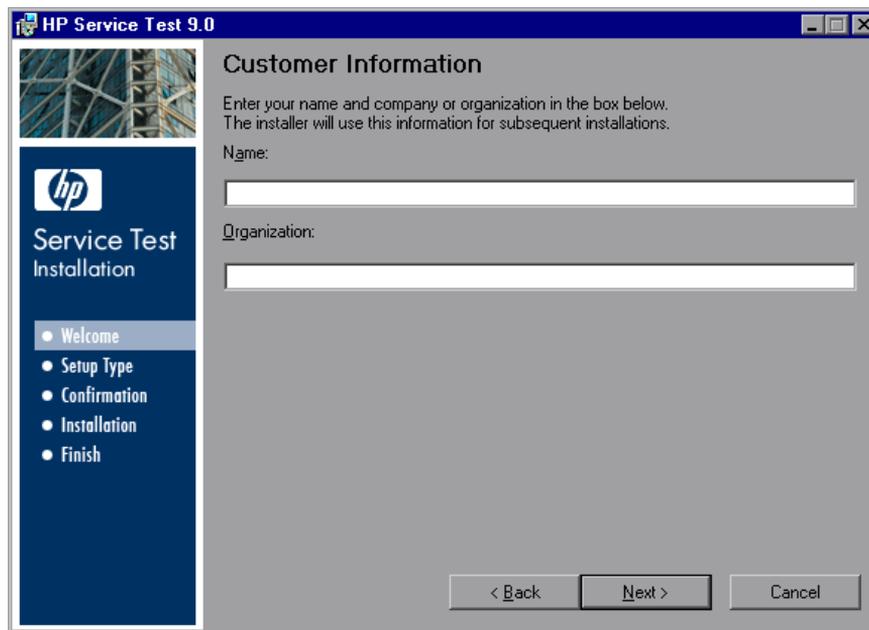


[Next] をクリックして先に進みます。

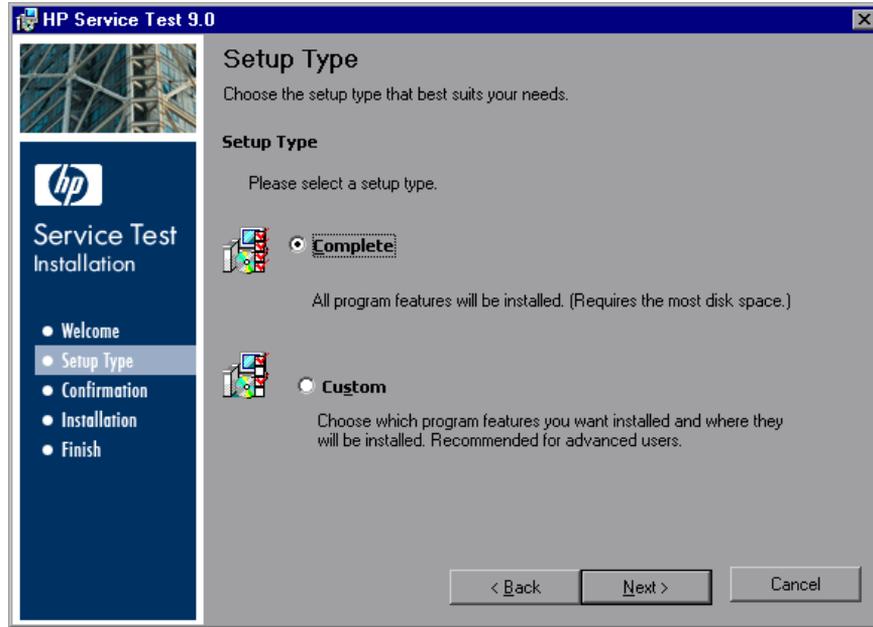
- 2 使用許諾契約を確認し、その条項に同意する場合は **[I Agree]** を選択します。  
**[Next]** ボタンをクリックします。



- 3 [Customer Information] ページで、名前と組織名を入力します。[Next] ボタンをクリックします。

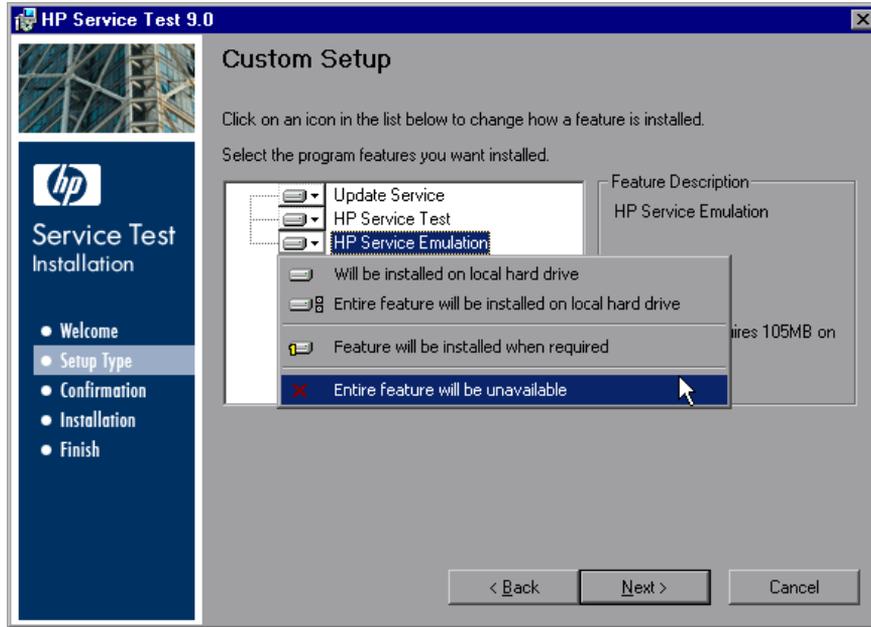


- 4 [Setup Type] ページで、[Complete] または [Custom] のどちらかのセットアップを選択します。



- ▶ 使用可能なプログラム機能のすべてをインストールする場合は、[Complete] を選択します。
  - ▶ インストールする機能を選択する場合は [Custom] を選択します。以下の機能があります。
    - ▶ [Update Service] : HP Service Test のアップデートがあるかを検索し、アップデートをインストールするオプションをユーザに提示するユーティリティです。
    - ▶ [HP Service Test] : 完全な HP Service Test 製品です。
    - ▶ [HP Service Emulation] : テスト実行時には使用できない Web サービスをテストするために、サービスのエミュレーションを作成するツールです。詳細については、『HP Service Test User's Guide』（英語版）を参照してください。
- [Next] をクリックします。

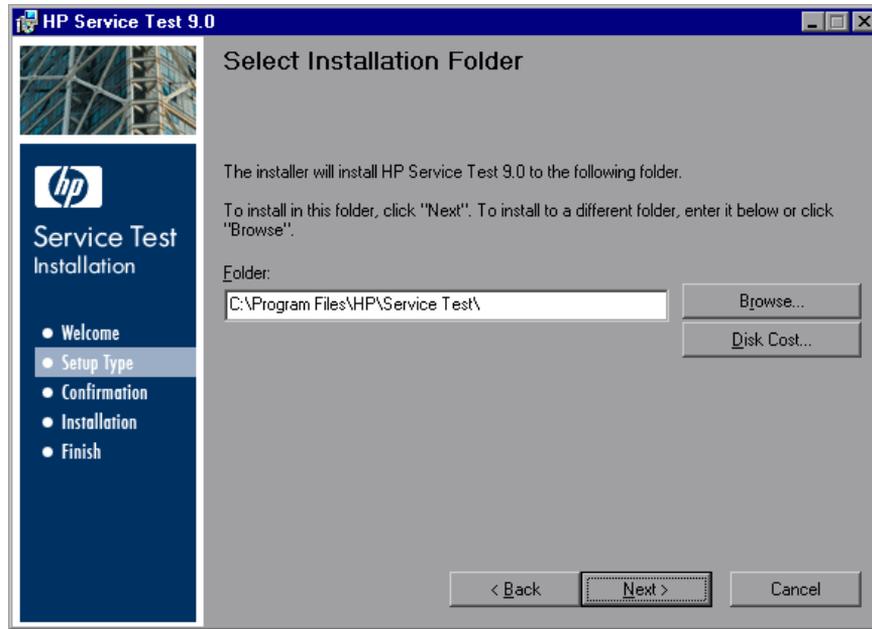
- 5 カスタム・インストールを選択した場合は、[Custom Setup] ページが表示されます。



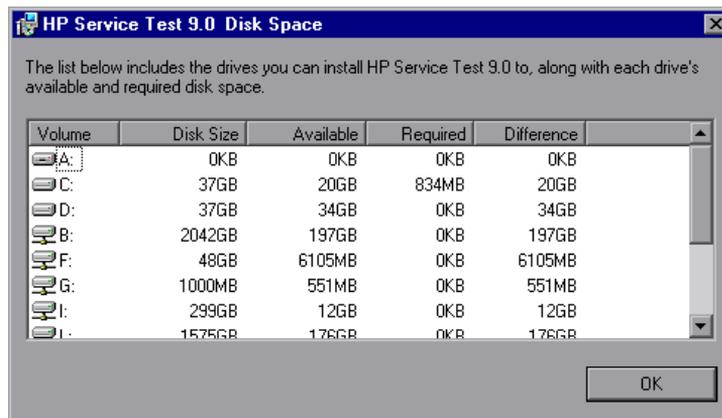
標準では、すべての機能がインストール対象として選択されています。特定の機能を除外するには、その機能の横の矢印をクリックし、表示されるメニューから **[Entire feature will be unavailable]** を選択します。

**[Next]** をクリックして先に進みます。

- 6 インストール先として提示されたフォルダを受け入れるか、別のフォルダの場所を表示します。



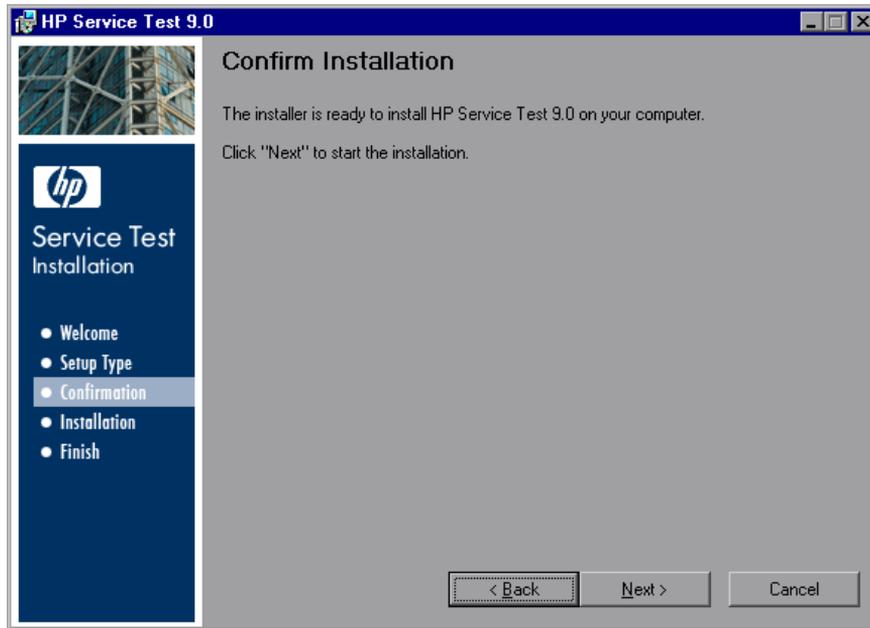
[Disk Cost] をクリックして、ドライブごとの必要なディスク容量と使用可能なディスク容量を確認します。



[OK] をクリックし、[Disk Space] ダイアログ・ボックスを閉じます。

[Next] をクリックして先に進みます。

7 インストールを確認するメッセージがウィザード画面に表示されます。



[Next] をクリックしてインストールを開始します。

---

**注：**初めてインストールされた Service Test には、21 日間のデモ・ライセンスが含まれます。21 日を超えて Service Test を使用する場合は、Service Test 用のライセンス・コードを申請し、有効にする必要があります。詳細については、23 ページ「Service Test ライセンスの使用」を参照してください。

---

# 第 3 章

## Service Test ライセンスの使用

Service Test のインストールには、シート・ライセンスまたはコンカレント・ライセンスを使用できます。

本章の内容	ページ
ライセンスの種類について	23
シート・ライセンス・コードの申請	25
シート・ライセンス・コードの有効化	27
コンカレント・ライセンスの使用	29

### ライセンスの種類について

Service Test を使用するには、有効なライセンスが必要です。ライセンスにはシートとコンカレントの 2 種類があります。次の表に 2 つのライセンス・タイプの違いをまとめています。

トピック	シート・ライセンス	コンカレント・ライセンス
<b>概要</b>	インストール先のコンピュータ固有のライセンスです。	ライセンス 1 件につき同時実行ユーザを 1 人追加する権利が与えられます。
<b>ライセンス・コードごとのインストール数</b>	Service Test のインストール先ごとに異なるライセンス・コードが必要です。	ネットワークにインストールできる Service Test の数に制限はありませんが、専用のライセンス・サーバによって一度に実行できる Service Test の数が制限されます。

トピック	シート・ライセンス	コンカレント・ライセンス
<b>シリアル番号</b>	ライセンス・コードはメンテナンス番号には基づいていません。	ライセンス・コードは一部、シリアル番号に基づきます。メンテナンス番号でお客様を識別し、そのライセンスで何人のコンカレント・ユーザがサポートされているかを示します。
<b>その他</b>	<p>ライセンス・コードは一部、ロッキング・コードに基づいています。ロッキング・コードは Service Test がインストールされているコンピュータを識別するコードです。提供されるライセンス・コードはロッキング・コードが生成されたコンピュータだけで動作します。</p> <p><b>注：</b>複数の起動用パーティションを持つコンピュータでは、パーティションごとに異なるロッキング・コードが生成されることがあります。パーティションに対して異なるロッキング・コードが生成された場合には、専用のライセンス文字列を申請する必要があります。</p> <p>Windows 2000/2003 Server で作業を行っている場合、リモート・デスクトップ接続を使ってサーバ・マシンにアクセスすると、シート・ライセンスは機能しません。</p>	<p>Unix ネットワークはサポートされていません。</p> <p>ライセンス・サーバは固定の IP アドレスを持っていることが推奨されます。</p> <p>Service Test クライアント・コンピュータには TCP/IP がインストールされている必要があります。</p> <p>コンカレント・ライセンスをネットワーク上で使用するには、サーバで UDP ポート 5093 を開く必要があります。</p>
<b>ライセンス・コードの入力</b>	新しいライセンスを設定または変更するには、ライセンス・マネージャ・ユーティリティを実行します。詳細については、27 ページ「シート・ライセンス・コードの有効化」を参照してください。	Service Test を起動するたびにライセンス・サーバが同じサブネット内で検索されます。インストールされている Service Test クライアントのためのライセンス・コードを入力する必要がありません。

## シート・ライセンス・コードの申請

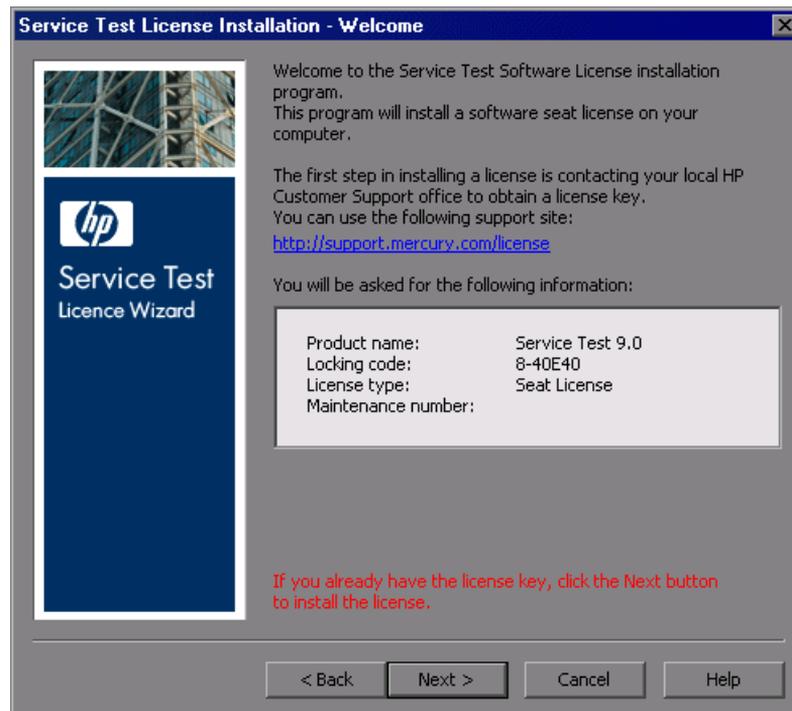
Service Test のインストールの際に、Service Test によって既存の有効なライセンスがコンピュータ上で見つからない場合、21 日間有効なデモ版シート・ライセンスが自動的に提供されます。

21 日を超えて Service Test を使用する場合は、Service Test 用のライセンス・コードを申請し、有効にする必要があります。

ライセンス・コードを申請するには、次の手順を実行します。

- 1 [スタート] > [HP Service Test] > [Service Test License Manager] を選択します。[License Summary] ダイアログ・ボックスが開きます。[Modify License] をクリックします。

[License Type] 画面が開きます。[Seat license] を選択し、[Next] をクリックします。[Yes] をクリックして新しいライセンス・キー・コードをインストールします。[Welcome] 画面が開きます。



- 2 画面に表示される Web アドレスを使ってカスタマー・サービスのライセンス申請ページを開きます。ロッキング・コード，ライセンスの種類，およびメンテナンス番号を [Welcome] 画面からコピーして貼り付けます。その他の必要な情報を入力してフォームを送信します。ライセンス・コードは，電子メールで送られてきます。

電子メールでライセンス・コードが送られてくるのを待ちます。受け取ったら，ライセンスを有効にします。

- ▶ シート・ライセンスを有効にするには，27 ページ「シート・ライセンス・コードの有効化」を参照してください。
- ▶ コンカレント・ライセンスを設定して有効にするには，29 ページ「コンカレント・ライセンスの使用」を参照してください。

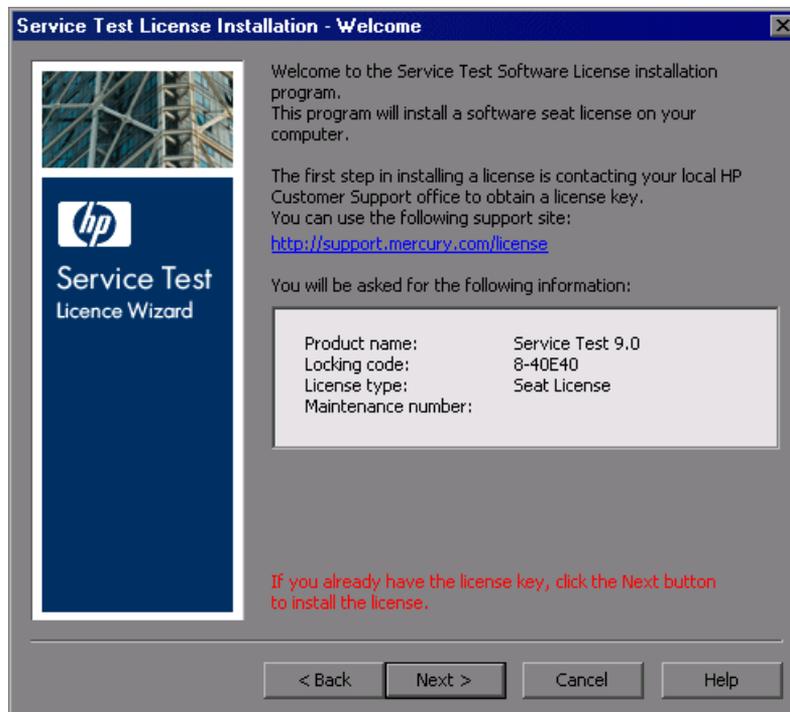
## シート・ライセンス・コードの有効化

HP のソフトウェア・カスタマー・サポートからライセンス・コードを受け取ったら、それを有効にする必要があります。

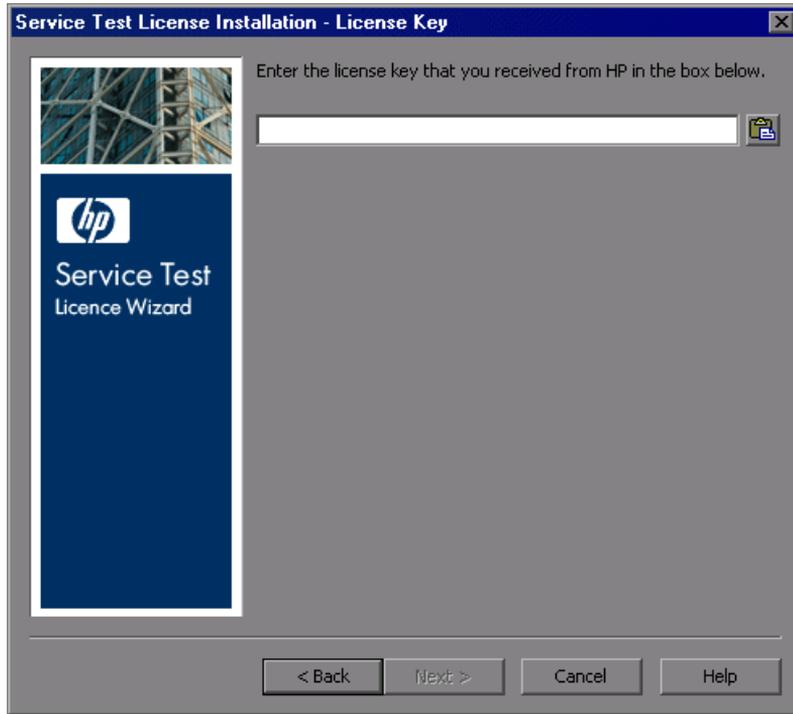
シート・ライセンス・コードを有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 [スタート] > [HP Service Test] > [Service Test License Manager] を選択します。[License Summary] ダイアログ・ボックスが開きます。[Modify License] をクリックします。

[License Type] 画面が開きます。[Seat license] を選択し、[Next] をクリックします。[Yes] をクリックして新しいライセンス・キー・コードをインストールします。[Welcome] 画面が開きます。



- 2 [Next] をクリックしてライセンス・キーを入力します。[License Key] ダイアログ・ボックスが開きます。



- 3 HP Software から受け取ったライセンス・キーを入力し、[Next] をクリックすると有効化のプロセスが開始します。

---

**注：**

シート・ライセンス・コードは、HP カスタマー・サポートのライセンス申請フォームに入力したロッキング・コードを持つコンピュータでのみ有効です。

複数の起動用パーティションを持つコンピュータは、パーティションごとに異なるロッキング・コードを生成することがあります。パーティション用に異なるロッキング・コードが生成された場合には、専用のライセンス文字列を申請する必要があります。

---

- 4 有効なライセンス・コードを入力すると、[Status] 画面でライセンス・コードが正しくインストールされたことを確認できます。[Next] をクリックします。
- 5 [Finished] 画面が開き、カスタマー・サポート情報が表示されます。[Finish] をクリックしてライセンスの有効化プロセスを完了します。

上記の手順を使ってライセンスを変更することもできます。

## コンカレント・ライセンスの使用

この項では、コンカレント・ライセンスを設定して有効にする方法を説明します。以下のトピックが含まれています。

- ▶ 29 ページ「サーバでのコンカレント・ライセンスの設定」
- ▶ 32 ページ「コンカレント・ライセンスの有効化」
- ▶ 34 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の手動による設定」

### サーバでのコンカレント・ライセンスの設定

コンカレント・ライセンスを使って Service Test を実行するには、お使いのライセンス・サーバに Service Test 機能をインストールする必要があります。ライセンス・サーバはバージョン 8.0 またはそれ以上でなければなりません。

---

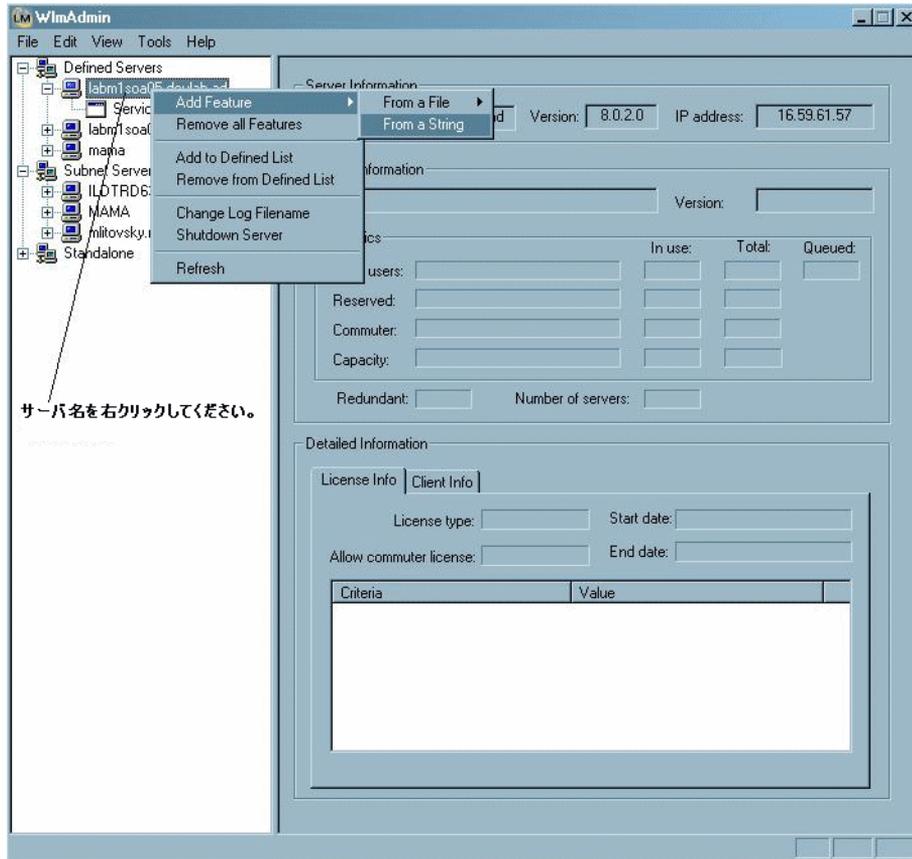
**注：**ライセンス・サーバ用のソフトウェアは別途入手する必要があります。

---

**お使いのライセンス・サーバに Service Test 機能を追加するには、次の手順を実行します。**

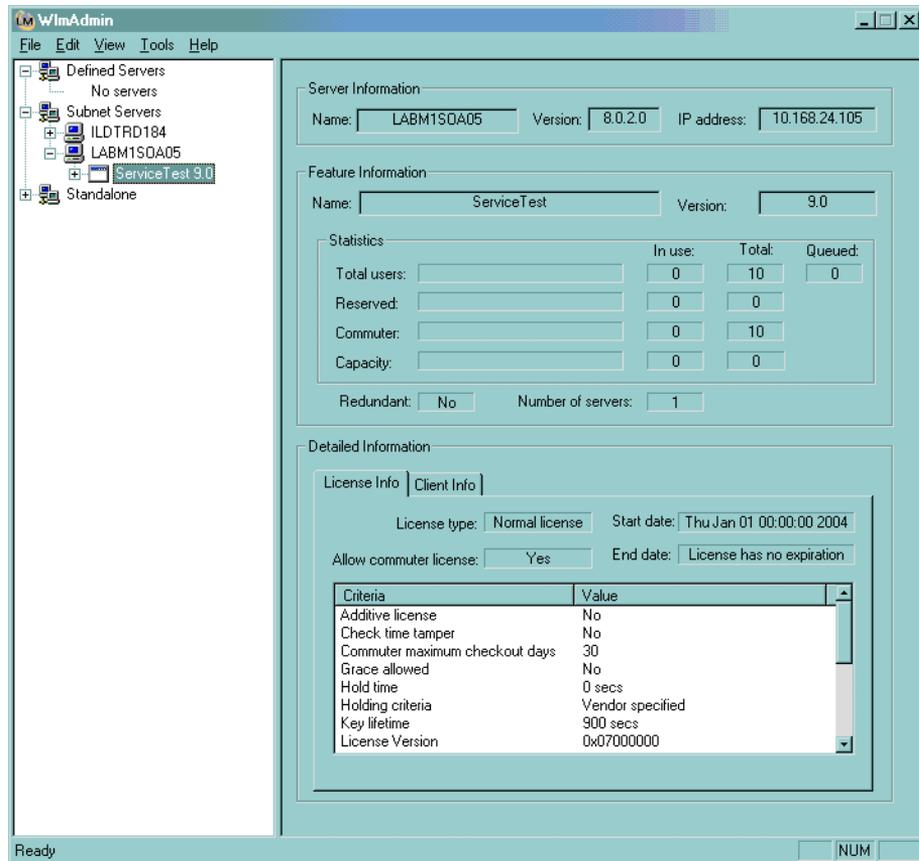
- 1 HP から受け取ったライセンス・コードを用意し、それをテキスト・ファイルに保存します。
- 2 [スタート] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択し、Sentinel LM サービスが実行していることを確認します。
- 3 ライセンス・サーバの**管理**ユーティリティ WlmAdmin.exe を実行します。サブネット・サーバ・ツリーで、サーバを実行しているコンピュータを特定します。

- 4 コンピュータ名を右クリックして、[Add Feature] > [From a File] > [to Server and File] を選択します。ライセンス・キーが書かれているファイルを指定します。



**注：**ライセンス・キーを含んでいる文字列から機能を追加することもできます。この場合は、[Add feature to server file] オプションを選択していることを確認してください。

- 5 管理ユーティリティに Service Test ライセンスが表示されていることを確認します。



## コンカレント・ライセンスの有効化

サーバにライセンス・コードをインストールしたら、コンカレント・ライセンスをインストールできます。これについては、29 ページ「サーバでのコンカレント・ライセンスの設定」で説明します。[Concurrent License] 画面には次のコントロールがあります。

- ▶ **[Concurrent License Server]** : 接続するライセンス・サーバです。サーバはネットワークからアクセス可能でなければなりません。サーバについて次の項目を入力できます。
  - ▶ ホスト名。たとえば、MyServer や MyServer.com など。
  - ▶ IP アドレス。たとえば、191.191.19.1 など。
- ▶ **[Check Connection]** : コンカレント・ライセンス・サーバがアクセス可能かどうかを確認します。

[Check Connection] ボタンをクリックしなければ、ユーザが **[Next]** をクリックしたときに Service Test によって接続が確認されます。

コンカレント・ライセンスを有効にするには、次の手順を実行します。

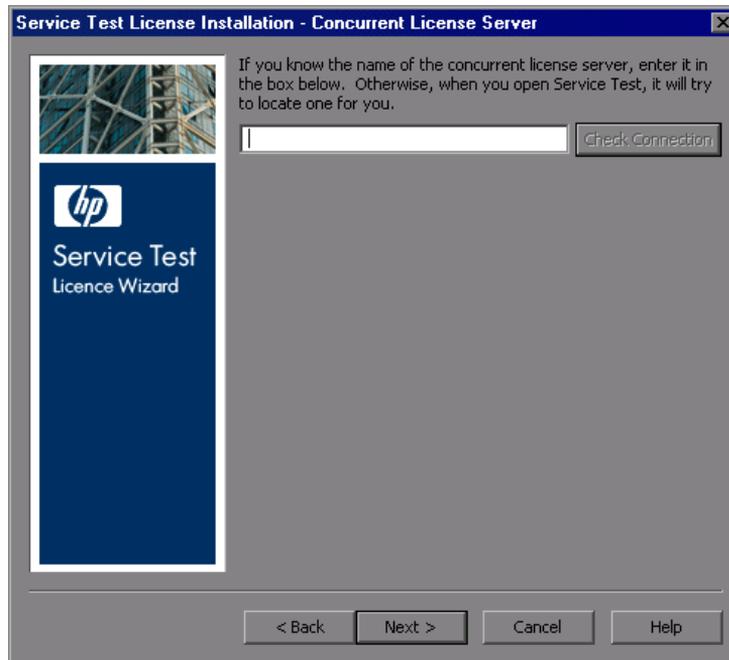
- 1 **[スタート]** > **[HP Service Test]** > **[Service Test License Manager]** を選択します。[License Summary] ダイアログ・ボックスが開きます。**[Modify License]** をクリックします。

---

**注** : Service Test コンピュータがコンカレント・ライセンス・サーバを見つけられず接続できない場合は、LSHOST または LSFORCEHOST 変数の設定が必要になることがあります。詳細については、34 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の手動による設定」を参照してください。

---

- 2 [License Type] 画面が開きます。[**Concurrent License**] を選択し、[**Next**] をクリックします。[**Concurrent License Server**] 画面が開きます。



- 3 接続するコンカレント・ライセンス・サーバを指定します。
- 4 [**Check Connection**] をクリックして、サーバが Service Test にアクセス可能であることを確認します。
- 5 [**Next**] をクリックします。ライセンス・マネージャによって、ライセンスが正常にインストールされたことが通知されます。

ライセンス・マネージャを再実行するか、LSHOST または LSFORCEHOST 環境変数を変更することによって、いつでも異なるコンカレント・ライセンス・サーバを指定できます。

---

**注：**

- ▶ Sentinel ライセンス・マネージャを使って、新しいライセンス・キーの設定（シート・ライセンスの場合）、コンカレントからシートへ、またはシートからコンカレントへのライセンスの種類の変更、またはライセンス・サーバの名前の設定／変更を行うことができます。
  - ▶ リモート・デスクトップ・アクセスを通じて Windows 2000/2003 サーバ・マシンで動作しているときには、シート・ライセンスはサポートされません。シート・ライセンスはこれらのマシン上で直接動作している場合にのみ機能します。
- 

### LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の手動による設定

Service Test コンピュータがコンカレント・ライセンス・サーバを見つけられず接続できない場合は、LSHOST または LSFORCEHOST 変数を手動で設定する必要があります。コンカレント・ライセンス・サーバが、Service Test クライアントと異なるサブネットまたはドメインにインストールされている場合も、LSHOST または LSFORCEHOST 変数を手動で設定する必要があります。

LSHOST または LSFORCEHOST 変数を設定することにより、Service Test はネットワーク上で特定のコンカレント・ライセンス・サーバを検索できるようになります。LSHOST 変数は、Service Test クライアントに希望のコンカレント・ライセンス・サーバを設定します。指定したコンカレント・サーバがローカル・サブネットに見つからない場合は、ネットワーク全体を検索します。LSFORCEHOST 変数は、Service Test を特定のコンカレント・ライセンス・サーバに制限します。

**LSHOST または LSFORCEHOST 変数を設定するには、次の手順を実行します。**

- 1 **[スタート]** > **[設定]** > **[コントロール パネル]** をクリックします。
- 2 **[システム]** をダブルクリックします。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3 **[詳細]** (Windows XP では **[詳細設定]**) タブをクリックします。

- 4 **[環境変数]** ボタンをクリックします。[環境変数] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 5 **[システム環境変数]** の中で、**[新規]** をクリックします。[新しいシステム変数] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 6 **[変数名]** ボックスに、**LHOST** または **LSFORCEHOST** を入力します。
- 7 **[変数値]** ボックスで、ライセンス・サーバの正式名称を入力します。あるいは、ホスト・コンピュータの IP アドレスを入力します。

---

**注：** Service Test コンカレント・ライセンス・サーバが1つのネットワーク上で実行されている場合などの複数のホスト名の場合、**[変数値]** ボックスでホスト名もしくは IP アドレスを、セミコロン (;) を使って区切ります。

---

- 8 **[OK]** をクリックして、[新しいシステム変数] ダイアログ・ボックスを閉じます。
- 9 **[OK]** をクリックして、[環境変数] ダイアログ・ボックスを閉じます。
- 10 **[OK]** をクリックして [システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスを閉じます。

